

第三卷 通史編 近現代

【本文】

頁 行数 誤 正

210	195	192	192	179	164	155	143	121	99	89	89	49	47	39	33	21
8	16	17	15	9	5	14	5	12	15	9	7	14	6	3	6	2
二一年	蚕業組合規約	一八八五	精油菜種精撰組合	公有林野整理規定	阿山類層	一八九七年	一八八七年七月	八一年	六月一三日	八三年	同年	九月三一日	藤堂藩鎗術指南	翌年二月	明治三年	一月一一日
二二年	蚕糸業組合規約	一八九五	製油菜種精撰組合	公有林野整理規則	阿山累層	一八九六年	一八八八年六月以降	八二年	六月一五日	八五年	八一年	九月三〇日	藩校崇広堂講官	八三年五月	七六年	一月一一日

640	629	626	526	523	518	471	424	419	418	374	367	341	266	251	251	246	246	242	235
12	6	10	12	4	9	10	12	7	1	11	6	10	11	5	4	2	1	2	5
堀拔義太郎	名賀郡農学校	中学校施行規則	二月	九月	青年勤勞封固開墾事業	『近代三重の新聞雑誌』	翌七年	私設鉄道法	第八十三銀行	東柘植西村	『三重の米』	三月二日	平和に祈りて設立五〇年史	『伊勢新聞』	上野教育会	阿山郡	阿山郡	阿拜山田郡立高等小学校	阿拜山田郡公立高等小学校
堀拔義太郎	名賀郡立農学校	中学校令施行規則	一月	一〇月	青年勤勞報國開墾事業	『近代三重の新聞雑誌稿』	翌年	私設鉄道条例	八十三銀行	東柘植村	『三重県の米』	三月三日	平和を祈りて設立五十年史	『伊賀新聞』	上野町教育会	阿拜山田郡	阿拜山田郡	阿拜山田郡公立高等小学校	阿拜山田郡公立高等小学校

937	7	島ヶ原温泉やぶつちや	
937	7	伊賀国大山田温泉	伊賀の国大山田温泉
908	3	二〇〇二年	二〇〇三年
866	10	九九年	二〇〇〇年
865	2	二〇〇七年	二〇〇六年
834	16	三〇周年記念として八五年	二〇周年記念として七五年
831	9	『柘植町情報』	『柘植情報』
828	6	七二年	七〇年
796	14	九月	七月
785	17	一〇月二四日	一〇月一日
774	1	一九四七昭和二二年	一九四六昭和二二年
773	4	一九四九年	一九四八年
760	3	黒塗り教科書	墨塗り教科書
757	2	港町	湊町
741	10	一九五六年	一九六三年
669	5	三九年	三七年
652	5	『近代三重の新聞雑誌』	『近代三重の新聞雑誌 稿』
644	6	一九二二大正元年	一九二二明治四五年
640	13	堀抜儀八	堀抜儀八
640	13	堀抜新井手	堀抜新井手

418	表 98	1 段目	第八十三銀行	八十三銀行
417	図 53	2 か所	第八十三銀行	八十三銀行
頁	該当箇所		誤	正
1045	3	規則	規程	
1043	3	盲養護老人ホーム	養護盲老人ホーム	
1043	3	上野社会事業協会	上野社会事業協会	
1040	1	五二年	五二年	
1021	5	六三年	六四年	
1021	5	同年	翌年	
991	10	三重県体育協会 阿山郡体育協会	関係書類綴伊賀町役場文書	
991	10	一九五三年	一九四七年	
979	6	一九六三年	一九六四年	
973	16	九三年月	九三年	
973	15	青山町同和教育研究推進協議会	青山町同和教育研究推進協議会	
966	2	大山田東小学校	大山田村立東小学校	
965	17	大山田西小学校	大山田村立西小学校	
960	2	二〇二二平成二四	二〇二〇平成二二	

島ヶ原温泉やぶつちや 島ヶ原温泉やぶつちやの湯

640 写119 (キヤブシヨシ) 堀拔義太郎顕彰碑

962 函136 伊賀市立城東中学校 堀拔義太郎顕彰碑

991 表222 島ヶ原村 1968.4 1967.-
一〇一〇・四・一 二〇〇九・四・一

第四卷 資料編 古代・中世

頁段 行数 誤 正

120 上 3 (日本記略) (日本紀略)

746 下 4 在陣あるへく候事 在陣あるへく候事

746 下 6 里々ニ可被書候事 里々ニ可被書候事

747 上 4 あるましく候事 あるましく候事

747 上 7 専二候間 専二候間

747 上 9 あるへく候 あるへく候

753 上 4 可被返候 然者脇指取候者 可被返候 然者脇指取候者

755 下 6 申極て置候 申極て置候

788 下 9 別供 別保

905 上 8 十七神明社 十七神明社

第五卷 資料編 近世

頁段 行数 誤 正

46 上 7 (藤堂高久書状) (藤堂高豊書状)

47 上 1 (貞享四年) (寛保二年)

47 上 1 (藤堂高久) (藤堂高豊)

47 上 2 (元春) (元杜)

193 下 5 御密用相勤候扣 (密) 御密用相勤候扣

214 上 11 四月 五月

432 上 2 年未詳 延宝四年(二六七六)

432 上 2 藤堂高虎 藤堂高久

432 上 4 (藤堂高虎) (藤堂高久)

432 上 14 (藤堂高虎) (藤堂高久)

477 下 17 いろく いろく

597 下 5 平田村惣社天王与 平田村惣社天王 y

598 下 10 宮掛り之内与 宮掛り之内 y

612 上 14 に目付席 小目付席

633 下 9 (続おれおれ日記) (続ほれほれ日記)

633 下 13 「続おれく日記」 「続ほれく日記」

637 上 10 松岡玄達 橋本四郎左衛門

603	9	元治元年(二八六四)	元治二年(二八六五)
571	14	同十七年に寄進	同十七年に愛宕神社へ寄進
565	2	文政八年	文政七年
565	1	文政八年(二八二五)	文政七年(二八二四)
557	6	「御相規申一札之事」	「乍恐口上」
551	12	四八〇反	約四八〇反
548	3	藩主高嶽	藩主
546	13	営んでいた者	始めた者
520	2	播磨・丹波	播磨・丹波
497	7	寛永十四年(一六三七)	寛永二十年(一六四三)
497	1	吉野家	吉野屋
495	3	五月	閏五月
489	12	延宝九年(一六六一)	延宝九年(一六八一)
472	10	三月	二月
445	5	稲垣伊右衛門	稲垣伊左衛門
438	14	九月	七月
380	11	井筒嘉兵衛	井筒屋嘉兵衛
327	10	正月	閏正月
315	17	同四年	同三年
197	8	藩主藤堂高久	藤堂高久

825	195	表 134	19 段目	元治1.3	元治2.3
195	195	表 30	⑤ ⑧	藩主高朗	前藩主高朗
111	111	表 14	2 段目	寛永7.11.16	寛永7.11.18
頁	該当箇所	誤	正		
875	875	12	翌年	同年	
866	866	17	慶応元年(一八六五)	元治元年(一八六四)	元治元年(一八六四)
835	835	8・9	元治元年	元治二年	
797	797	8	『上野旧記目録』	『上野町旧記目録』	
795	795	4	文化四年(一八〇七)	文化三年(一八〇六頃)	
758	758	16	家集	歌集	
712	712	7	養成寮	養正寮	
657	657	17	十七神明社	十七明神社	
653	653	6	堂舎	仏像	
647	647	15	天和二年(一六八二)	貞享四年(一六八七)	
609	609	1	九所権現	九社権現	
609	609	1	天神社	天神宮	

【図・表・写真】

第一卷 通史編 古代・中世

【本文】

頁	行数	誤	正
785	12	つづじヶ丘	つづじが丘
763	2	摺見	比自岐
694	9	十七神明社	十七明神社
687	1	上津 <small>こうず</small>	上津 <small>こうづ</small>
660	14	清水館跡	清水北館跡
520	4	宝雲寺塔	法雲寺塔
520	4	宝雲寺	法雲寺
411	5	不輪	不輪
321	14	横領	押領
305	7	文政五年(二八二)	文政六年(二八三)
279	3	從儀師 <small>いぎし</small>	從儀師 <small>じゆうぎし</small>
240	16	掘立柱建物	掘立柱建物
158	5	井出	井手
75	9	銀象嵌太刀把頭	銀象嵌大刀把頭
54	4	長方形板革綴短甲	長方形板革綴短甲

838 12 春日神社
津藩町

810 6 春日社
津幡町

【図・表・写真】

頁	該当箇所	誤	正
478	表17 No. 27	五教章問答章	五教章問答抄

第二卷 通史編 近世

【本文】

頁	行数	誤	正
194	5	藩主	前藩主
149	2	同年	翌年
132	8	八月二十日	八月二日
120	6	二男・三男	弟二人
104	2	明曆四年(二六五八)	万治三年(二六六〇)
59	4	六月	七月
43	2	同年	翌年
31	5	慶長十四年(二六〇九)	慶長十五年(二六一〇)
21	15	藤堂仁左衛門高刑	藤堂仁右衛門高刑
19	1	元和元年(二六二五)	元和二年(二六二六)

1038	1026	1012	997	990	978	975	974	915	755	717	682	680	678	678	676	666	643
上	上	上		下	下	上	下	下	下	下	上	下	上	上	下	下	下
17	12	16	14	1	1	2	7	4	10	7	4	9	8	5	9	1	9
(隆調)	同十六日に傍注(十月)を付す	採扱を削除する	四条隆調 <small>たかうた</small>	六月	其覚新古棟札	嗚呼時名計哉	寺社役人は、去年七月の後に続く	万治瑛暦	(朱書「六」は、拾と人の間	右之者通	文政四年辛巳十月立冬之日 文政五年壬午閏正月朔日	水戸参議	(文政三年)	文政三年(八二〇)	文政三年(八二〇)	同半刻頃	予
(隆平)			四条隆平 <small>たかとし</small>	四月	其節新古棟札	嗚呼時不計哉		万治三瑛暦	右之通			水戸参議公	(文政四年)	文政四年(八二二)	申半刻頃	予 <small>よ</small>	

371	173	136	132	89	716	432	716	432	1059	1045	1045	1038
八十三銀行	8	9	13	9	下	下	下	下	上	上	上	下
©416	旭電気化成	積雪26cm	1933 昭和8	2.22	2	3	『三重県水平社農運動史』	八月六日付	8	4	4	8
©418	旭電機化成	積雪27cm	1936 昭和11	3.22	『三重県水平社農運動史』	八月八日付	『三重県水平社農運動史』	八月八日付	(後略)を削除する	(八月)	3行目と4行目の間に(前略)を入れる	(隆調)
										(十月)		(隆平)

第七巻 年表・索引

頁 事項・語句 誤 正

第六巻 資料編 近現代

頁段 行数 誤 正

『伊賀市史』正誤表

平成三十年二月 日

編集 伊賀市

伊賀市上野丸之内一六番地

『伊賀市史』

正誤表